

令和7年度厚生労働行政推進調査事業補助金  
政策科学総合研究事業(政策科学推進事業)

「DPCデータを用いた入院医療の評価・検証及びDPCデータベースの利活用に資する研究」  
分担研究報告書

高齢者救急の原因傷病の分析

研究分担者 松田晋哉 福岡国際医療福祉大学 看護学部 教授

【研究要旨】

**目的：** 今後、増加が予測されている高齢者救急に適切に対応するための資料作成を目的として、2020年のDPCデータと2020年の国勢調査及びそれに基づく将来人口推計の中位推計を用いて、全国レベルで75歳以上の救急症例について、原因傷病の分析を行った。

**方法：** 分析に用いたデータは、診断群分類研究支援機構を介して、DPC制度に参加している1,098施設から得た6,414,857件のデータである(以下、研究班データ)。このデータを用いて、年齢階級別(75-79歳、80-84歳、85-89歳、90-94歳、95歳以上)に救急車による搬送で入院した患者数(以下、救急患者数)について上位15疾患を求めた。

**結果：** 75歳以上の高齢者で増加する救急搬送の原因となる傷病としては、肺炎、誤嚥性肺炎、尿路感染症、脳梗塞、心不全、徐脈性不整脈などの内科系疾患と股関節大腿近位骨折、胸椎、腰椎以下骨折損傷などの外傷疾患が重要であることが明らかとなった。例えば、2020年から50年の間に、最も増加率の高い95歳以上では最も多いのは誤嚥性肺炎(構成割合12.4%、死亡率26.3%、24時間以内死亡率4.7%、要介護者割合83.0%、介護施設からの入院割合50.2%)、次いで心不全(構成割合10.2%、死亡率26.0%、24時間以内死亡率5.9%、要介護者割合69.6%、介護施設からの入院割合32.2%)、股関節・大腿近位の骨折(構成割合9.9%、死亡率3.4%、24時間以内死亡率0.1%、要介護者割合69.5%、介護施設からの入院割合29.2%)、肺炎(構成割合6.4%、死亡率27.0%、24時間以内死亡率5.3%、要介護者割合73.6%、介護施設からの入院割合40.8%)、脳梗塞(構成割合6.4%、死亡率18.5%、24時間以内死亡率0.8%、要介護者割合69.7%、介護施設からの入院割合33.3%)、腎臓又は尿路の感染症(構成割合5.2%、死亡率6.0%、24時間以内死亡率0.4%、要介護者割合80.1%、介護施設からの入院割合40.2%)で上位15傷病で全救急車搬送入院の69.5%となっていた。

**考察：** 本研究に利用したデータは悉皆性の点で問題があるが、今後増加する傷病の種類については、妥当性の高い結果であると考えられる。これらの傷病を原因とする救急搬送の負荷を抑制するためには、ACSCの視点からの予防及び転倒予防対策の充実が必要である。

## A. 研究目的

本研究の別の報告書で示したように今後、仮に現在の医療提供の状況が続くとすれば、日本においては高齢者の救急搬送による入院が増加する。高齢者救急の増加という問題に対応するためには、予防及び退院支援の視点からの連携体制の強化が必要である。この課題を具体的に検討するためには、今後どのような病態で高齢者救急が増加するかを分析することが有用である。

本研究ではこのような問題意識から、2020年のDPCデータと2020年の国勢調査及びそれに基づく将来人口推計の中位推計を用いて、全国レベルで75歳以上の救急症例について、年齢階級別にどのような病態の患者が増加するかを分析した結果を報告する。

## B. 研究方法

分析に用いたデータは、診断群分類研究支援機構を介して、DPC制度に参加している1,098施設から得た6,414,857件のデータである（以下、研究班データ）。このデータを用いて、年齢階級別（75-79歳、80-84歳、85-89歳、90-94歳、95歳以上）に救急車による搬送で入院した患者数（以下、救急患者数）について上位15疾患を求めた。そして、これら15疾患について、死亡退院率、24時間以内死亡率、要介護高齢者の割合、介護施設から搬送された患者の割合を求めた。さらにこれを国立社会保障人口問題研究所が公開している都道府県別の5歳階級別人口の推計値の変化（2020年度を1とした時の各年度の指数）に適用して、各年度の年齢階級別・傷病別の救急患者数を推計した。

（倫理面への配慮）

本研究は、福岡国際医療福祉大学倫理審査委員会の承認（承認番号：第25-TG-024号）を得て実施した。

## C. 研究結果

図表1-1は2020年度の75-79歳における救急車搬送入院患者146,353名について上位15疾患を示したものである。最も多いのは脳梗塞で7.9%、その死亡率は5.7%、24時間以内死亡率は0.7%、要介護者の割合は17.0%、介護施設からの入院割合は3.8%であった。次いで、誤嚥性肺炎（構成割合4.2%、死亡率17.8%、24時間以内死亡率2.7%、要介護者割合65.5%、介護施設からの入院割合28.0%）、心不全（構成割合4.0%、死亡率12.0%、24時間以内死亡率4.5%、要介護者割合25.3%、介護施設からの入院割合5.4%）、肺炎（構成割合3.9%、死亡率17.1%、24時間以内死亡率3.4%、要介護者割合35.5%、介護施設からの入院割合11.0%）、股関節・大腿近位の骨折（構成割合3.9%、死亡率1.1%、24時間以内死亡率0.0%、要介護者割合29.5%、介護施設からの入院割合7.0%）、徐脈性不整脈（構成割合3.6%、死亡率77.7%、24時間以内死亡率72.1%、要介護者割合9.3%、介護施設からの入院割合5.5%）で上位15傷病で全救急車搬送入院の49.8%となっている。

図表1-2は75-79歳を対象に2020年度の救急車搬送院患者の上位15の医療資源病名について2025年～50年の予測患者数を求めた結果を示したものである。なお、推計値は研究協力施設における推計値であり、全DPC調査対象施設の

ものではないことに注意されたい。

図表 2-1 は 2020 年度の 80-84 歳における救急車搬送入院患者 171,594 名について上位 15 疾患を示したものである。最も多いのは脳梗塞で 7.4%、その死亡率は 7.8%、24 時間以内死亡率は 0.9%、要介護者の割合は 26.7%、介護施設からの入院割合は 6.7%であった。次いで、股関節・大腿近位の骨折（構成割合 5.4%、死亡率 1.2%、24 時間以内死亡率 0.0%、要介護者割合 38.2%、介護施設からの入院割合 11.0%）、誤嚥性肺炎（構成割合 5.4%、死亡率 19.5%、24 時間以内死亡率 3.1%、要介護者割合 69.6%、介護施設からの入院割合 33.1%）、心不全（構成割合 5.2%、死亡率 14.4%、24 時間以内死亡率 4.6%、要介護者割合 33.8%、介護施設からの入院割合 8.4%）、肺炎（構成割合 4.4%、死亡率 14.4%、24 時間以内死亡率 4.6%、要介護者割合 33.8%、介護施設からの入院割合 14.1%）、徐脈性不整脈（構成割合 4.0%、死亡率 75.7%、24 時間以内死亡率 71.6%、要介護者割合 12.7%、介護施設からの入院割合 9.3%）、尿路感染症（構成割合 3.9%、死亡率 2.7%、24 時間以内死亡率 0.3%、要介護者割合 51.5%、介護施設からの入院割合 15.7%）で上位 15 傷病で全救急車搬送入院の 54.0%となっている。

図表 2-2 は 80-84 歳を対象に、2020 年度の救急車搬送入院患者の上位 15 の医療資源病名について 2025 年～50 年の予測患者数を求めた結果を示したものである。

図表 3-1 は 2020 年度の 85-89 歳における救急車搬送入院患者 174,834 名につ

いて上位 15 疾患を示したものである。最も多いのは股関節・大腿近位の骨折（構成割合 7.4%、死亡率 1.6%、24 時間以内死亡率 0.0%、要介護者割合 49.6%、介護施設からの入院割合 17.6%）、次いで、誤嚥性肺炎（構成割合 7.2%、死亡率 21.4%、24 時間以内死亡率 3.6%、要介護者割合 74.6%、介護施設からの入院割合 39.0%）、脳梗塞（構成割合 6.9%、死亡率 9.3%、24 時間以内死亡率 0.7%、要介護者割合 40.3%、介護施設からの入院割合 14.0%）、心不全（構成割合 6.6%、死亡率 17.3%、24 時間以内死亡率 4.5%、要介護者割合 45.1%、介護施設からの入院割合 15.0%）、肺炎（構成割合 4.9%、死亡率 21.6%、24 時間以内死亡率 4.3%、要介護者割合 54.3%、介護施設からの入院割合 21.9%）、腎臓又は尿路の感染症（構成割合 4.4%、死亡率 3.9%、24 時間以内死亡率 0.5%、要介護者割合 61.0%、介護施設からの入院割合 22.3%）で上位 15 傷病で全救急車搬送入院の 59.0%となっている。

図表 3-2 は 85-89 歳を対象に、2020 年度の救急車搬送入院患者の上位 15 の医療資源病名について 2025 年～50 年の予測患者数を求めた結果を示したものである。

図表 4-1 は 2020 年度の 90-94 歳における救急車搬送入院患者 110,853 名について上位 15 疾患を示したものである。最も多いのは誤嚥性肺炎（構成割合 9.6%、死亡率 23.9%、24 時間以内死亡率 3.7%、要介護者割合 78.2%、介護施設からの入院割合 44.2%）、次いで股関節・大腿近位の骨折（構成割合 9.0%、死亡率 2.4%、

24 時間以内死亡率 0.1%、要介護者割合 59.9%、介護施設からの入院割合 23.9%)、心不全 (構成割合 8.5%、死亡率 21.5%、24 時間以内死亡率 5.4%、要介護者割合 58.0%、介護施設からの入院割合 23.5%)、脳梗塞 (構成割合 6.9%、死亡率 13.1%、24 時間以内死亡率 0.9%、要介護者割合 55.0%、介護施設からの入院割合 22.3%)、肺炎 (構成割合 5.6%、死亡率 24.9%、24 時間以内死亡率 4.4%、要介護者割合 64.4%、介護施設からの入院割合 31.1%)、腎臓又は尿路の感染症 (構成割合 4.7%、死亡率 5.4%、24 時間以内死亡率 0.7%、要介護者割合 70.8%、介護施設からの入院割合 31.2%) で上位 15 傷病で全救急車搬送入院の 64.3%となっている。

図表 4-2 は 90-94 歳を対象に、2020 年度の救急車搬送院患者の上位 15 の医療資源病名について 2025 年～50 年の予測患者数を求めた結果を示したものである。

図表 5-1 は 2020 年度の 95 歳以上における救急車搬送入院患者 41,090 名について上位 15 疾患を示したものである。最も多いのは誤嚥性肺炎 (構成割合 12.4%、死亡率 26.3%、24 時間以内死亡率 4.7%、要介護者割合 83.0%、介護施設からの入院割合 50.2%)、次いで心不全 (構成割合 10.2%、死亡率 26.0%、24 時間以内死亡率 5.9%、要介護者割合 69.6%、介護施設からの入院割合 32.2%)、股関節・大腿近位の骨折 (構成割合 9.9%、死亡率 3.4%、24 時間以内死亡率 0.1%、要介護者割合 69.5%、介護施設からの入院割合 29.2%)、肺炎 (構成割合 6.4%、死亡率 27.0%、24 時間以内死亡率 5.3%、要

介護者割合 73.6%、介護施設からの入院割合 40.8%)、脳梗塞 (構成割合 6.4%、死亡率 18.5%、24 時間以内死亡率 0.8%、要介護者割合 69.7%、介護施設からの入院割合 33.3%)、腎臓又は尿路の感染症 (構成割合 5.2%、死亡率 6.0%、24 時間以内死亡率 0.4%、要介護者割合 80.1%、介護施設からの入院割合 40.2%) で上位 15 傷病で全救急車搬送入院の 69.5%となっている。

図表 5-2 は 95 歳以上を対象に、2020 年度の救急車搬送院患者の上位 15 の医療資源病名について 2025 年～50 年の予測患者数を求めた結果を示したものである。

#### D. 考察

本分析ではデータ提供の同意が得られた施設のみデータを用いているため、救急車搬送による入院の全数をとらえているわけではない。そのために、全体のトレンドも研究班データと同様であり、かつ入院率、その中での救急患者の割合も 2020 年と変わらないという仮定を置いて研究を行った。また、2020 年は COVID-19 の流行があったため、救急車搬送の対象者に偏りがある可能性も否定できない。したがって、本研究の分析結果については、上記の制約があることを踏まえて解釈を行うことが必要である、今後、厚生労働省が収集している DPC データを用いて同様の分析を行って本分析結果の妥当性を検証する作業が必要である。

以上の制約はあるが、救急車搬送による入院のボリュームは団塊世代に大き

く影響されることに確実である。そして、75 歳以上の高齢者で増加する救急搬送の原因となる傷病としては、肺炎、誤嚥性肺炎、尿路感染症、脳梗塞、心不全、徐脈性不整脈などの内科系疾患と股関節大腿近位骨折、胸椎、腰椎以下骨折損傷などの外傷疾患が重要であることも明らかとなった。今年度研究に別の報告書でも指摘したように、上記のうち内科系の疾患は、ACSC (Ambulatory Care Sensitive Conditions) と総称されるものでプライマリケアでの適切な管理があれば入院が避けられる可能性が高い病態と称されるものである。これらの傷病を持つ高齢者の多くがすでに介護サービスを受けていることを踏まえると、介護の現場における日常的な医学管理を適切に行うことで入院を抑制することが可能である。例えば、済生会熊本病院では、連携している医療機関や介護施設と軽症心不全の診断基準を共有して、早期に、しかできるだけ日中に救急外来を受診してもらうことで、心不全による入院の抑制に成功している。今後、増加することが予想される高齢者救急、特に心不全や尿路感染症、肺炎、脱水症などによる入院を抑制するためには、ACSC に着目した施設間の連携が重要になる。そして、連携が有効に機能するためには、共有すべき情報を標準化し ICT を活用することが望ましい。函館市はこうした施設間連携の先進地域であり、同市で活用されている医療介護連携サマリーを普及させることが望ましいと筆者は考えている。

股関節・大腿近位骨折になどの外傷系

傷病については、転倒予防や骨粗鬆症対策、認知症対策が重要となる。ロコモ健診や骨粗鬆症健診の普及とその後の健康増進対策や骨粗鬆症の薬物治療の充実が求められる。認知症を有する高齢者についても、適切な機能訓練やリハビリテーションを提供することが必要である。認知症を有する在宅高齢者は多くが通所介護を利用していることを考慮すると、通所介護における機能訓練の在り方を検討する必要がある。

ところで、本分析では徐脈性不整脈で救急車による搬送になった高齢患者で局単に死亡率及び 24 時間以内死亡率が高くなっていった。徐脈性不整脈には心停止が含まれており、多くはこの病態で入院したものと推察される。こうした高齢患者については、搬送前の施設や在宅で看取りを行う方が、尊厳ある終末期を過ごすために望ましかった事例も少なくないと考えられる。このことは、改めて ACP (Advance Care Planning) の重要性を示唆するものである。日本は今後年間 160 万人以上が死亡する時代になる。終末期の在り方を国民レベルで議論すべき時期に来ている。この問題は医療介護給費の適正化という側面もあるが、それ以上に尊厳ある終末期を日本人がどう生きるべきなのかという、より哲学的な検討を必要とするものにとらえられるべきだろう。

## E. 結論

DPC データを用いて、75 歳以上の高齢者について、年齢階級別に救急搬送入院の原因傷病を分析した。救急搬送の原因となる

傷病としては、肺炎、誤嚥性肺炎、尿路感染症、脳梗塞、心不全、徐脈性不整脈などの内科系疾患と股関節大腿近位骨折、胸椎、腰椎以下骨折損傷などの外傷疾患が重要であることが明らかとなった。これらの傷病を原因とする救急搬送の負荷を抑制するためには、ACSC の視点からの予防及び転倒予防対策の充実が必要である。

F. 健康危険情報

特になし

G. 知的財産権の出願

特になし

H. 利益相反

特になし

I. 研究発表

①論文発表

特になし

②学会・委員会等発表

特になし

図表 1-1 2020 年度の救急車搬送院患者の上位 15 の医療資源病名と死亡率及び介護の状況（75-79 歳 全国 研究班データ）

75-79 歳		患者数			死亡		24 時間以内死亡		要介護高齢者		介護施設から入院	
		N	%	累積%	N	%	N	%	N	%	N	%
<b>DPC6 全体</b>		<b>146,353</b>			<b>20,715</b>	<b>14.2%</b>	<b>8,390</b>	<b>5.7%</b>	<b>35,528</b>	<b>24.3%</b>	<b>8,387</b>	<b>5.7%</b>
010060	脳梗塞	11,548	7.9%	7.9%	654	5.7%	78	0.7%	1,964	17.0%	439	3.8%
040081	誤嚥性肺炎	6,158	4.2%	12.1%	1,098	17.8%	167	2.7%	4,031	65.5%	1,726	28.0%
050130	心不全	5,893	4.0%	16.1%	710	12.0%	265	4.5%	1,489	25.3%	317	5.4%
040080	肺炎	5,767	3.9%	20.1%	986	17.1%	195	3.4%	2,048	35.5%	634	11.0%
160800	股関節・大腿近位の骨折	5,647	3.9%	23.9%	64	1.1%	0	0.0%	1,667	29.5%	394	7.0%
050210	徐脈性不整脈	5,321	3.6%	27.6%	4,132	77.7%	3,839	72.1%	497	9.3%	293	5.5%
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	4,944	3.4%	30.9%	336	6.8%	119	2.4%	794	16.1%	135	2.7%
110310	前立腺の悪性腫瘍	4,735	3.2%	34.2%	86	1.8%	14	0.3%	2,011	42.5%	575	12.1%
050030	急性心筋梗塞	4,353	3.0%	37.1%	718	16.5%	404	9.3%	359	8.2%	79	1.8%
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	4,328	3.0%	40.1%	810	18.7%	283	6.5%	901	20.8%	252	5.8%
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	3,115	2.1%	42.2%	17	0.5%	3	0.1%	687	22.1%	49	1.6%
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	2,820	1.9%	44.2%	75	2.7%	7	0.2%	693	24.6%	138	4.9%
180010	敗血症	2,791	1.9%	46.1%	873	31.3%	225	8.1%	1,021	36.6%	301	10.8%
030400	前庭機能障害	2,754	1.9%	47.9%	0	0.0%	0	0.0%	131	4.8%	11	0.4%
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	2,718	1.9%	49.8%	100	3.7%	34	1.3%	612	22.5%	184	6.8%

図表 1-2 2020 年度の救急車搬送院患者の上位 15 の医療資源病名と 2025 年～50 年の予測患者数（75-79 歳 全国 研究班データ）

75-79 歳		2020 年	年度	2025	2030	2035	2040	2045	2050
		患者数	指数*	1.19	1.01	0.89	0.94	1.03	1.16
<b>DPC6</b>	<b>全体</b>	<b>146,353</b>		174,419	148,507	130,881	137,954	151,132	170,252
010060	脳梗塞	11,548		13,763	11,718	10,327	10,885	11,925	13,434
040081	誤嚥性肺炎	6,158		7,339	6,249	5,507	5,805	6,359	7,164
050130	心不全	5,893		7,023	5,980	5,270	5,555	6,085	6,855
040080	肺炎	5,767		6,873	5,852	5,157	5,436	5,955	6,709
160800	股関節・大腿近位の骨折	5,647		6,730	5,730	5,050	5,323	5,831	6,569
050210	頻脈性不整脈	5,321		6,341	5,399	4,758	5,016	5,495	6,190
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	4,944		5,892	5,017	4,421	4,660	5,105	5,751
110310	前立腺の悪性腫瘍	4,735		5,643	4,805	4,234	4,463	4,890	5,508
050030	急性心筋梗塞	4,353		5,188	4,417	3,893	4,103	4,495	5,064
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	4,328		5,158	4,392	3,870	4,080	4,469	5,035
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	3,115		3,712	3,161	2,786	2,936	3,217	3,624
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	2,820		3,361	2,862	2,522	2,658	2,912	3,280
180010	敗血症	2,791		3,326	2,832	2,496	2,631	2,882	3,247
030400	前庭機能障害	2,754		3,282	2,795	2,463	2,596	2,844	3,204
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	2,718		3,239	2,758	2,431	2,562	2,807	3,162

注： 推計値は研究協力施設における推計値であり、全 DPC 調査対象施設のものではないことに注意。

図表 2-1 2020 年度の救急車搬送院患者の上位 15 の医療資源病名と死亡率及び介護の状況（80-84 歳 全国 研究班データ）

80-84 歳		患者数			死亡		24 時間以内死亡		要介護高齢者		介護施設から入院	
		N	%	累積%	N	%	N	%	N	%	N	%
<b>DPC6 全体</b>		<b>171,594</b>			<b>26,199</b>	<b>15.3%</b>	<b>10628</b>	<b>6.2%</b>	<b>57,210</b>	<b>33.3%</b>	<b>15,959</b>	<b>9.3%</b>
010060	脳梗塞	12,617	7.4%	7.4%	988	7.8%	115	0.9%	3,367	26.7%	848	6.7%
160800	股関節・大腿近位の骨折	9,316	5.4%	12.8%	109	1.2%	4	0.0%	3,558	38.2%	1,027	11.0%
040081	誤嚥性肺炎	9,257	5.4%	18.2%	1,801	19.5%	290	3.1%	6,440	69.6%	3,060	33.1%
050130	心不全	8,862	5.2%	23.3%	1,278	14.4%	404	4.6%	2,994	33.8%	742	8.4%
040080	肺炎	7,502	4.4%	27.7%	1,522	20.3%	311	4.1%	3,307	44.1%	1,059	14.1%
050210	徐脈性不整脈	6,779	4.0%	31.7%	5,135	75.7%	4851	71.6%	862	12.7%	629	9.3%
110310	腎臓又は尿路の感染症	6,617	3.9%	35.5%	179	2.7%	17	0.3%	3,410	51.5%	1,036	15.7%
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	5,820	3.4%	38.9%	539	9.3%	187	3.2%	1,406	24.2%	289	5.0%
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	4,455	2.6%	41.5%	1,008	22.6%	374	8.4%	1,338	30.0%	452	10.1%
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	4,213	2.5%	44.0%	32	0.8%	1	0.0%	1,320	31.3%	100	2.4%
050030	急性心筋梗塞	4,043	2.4%	46.3%	879	21.7%	504	12.5%	631	15.6%	180	4.5%
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	3,965	2.3%	48.6%	135	3.4%	25	0.6%	1,326	33.4%	293	7.4%
180010	敗血症	3,618	2.1%	50.7%	1,138	31.5%	323	8.9%	1,610	44.5%	533	14.7%
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	3,132	1.8%	52.6%	198	6.3%	82	2.6%	1,074	34.3%	347	11.1%
180030	その他の感染症（真菌を除く。）	2,443	1.4%	54.0%	449	18.4%	28	1.1%	783	32.1%	286	11.7%

図表 2-2 2020 年度の救急車搬送による入院患者の上位 15 の医療資源病名と 2025 年～50 年の予測患者数（80-84 歳 全国 研究班データ）

80-84 歳		2020 年	年度	2025	2030	2035	2040	2045	2050
		患者数	指数*	1.12	1.35	1.16	1.03	1.09	1.20
<b>DPC6</b>	<b>全体</b>	<b>171,594</b>		192,210	232,495	198,702	176,662	187,547	206,735
010060	脳梗塞	12,617		14,133	17,095	14,610	12,990	13,790	15,201
160800	股関節・大腿近位の骨折	9,316		10,435	12,622	10,788	9,591	10,182	11,224
040081	誤嚥性肺炎	9,257		10,369	12,542	10,719	9,530	10,118	11,153
050130	心不全	8,862		9,927	12,007	10,262	9,124	9,686	10,677
040080	肺炎	7,502		8,403	10,165	8,687	7,724	8,199	9,038
050210	徐脈性不整脈	6,779		7,593	9,185	7,850	6,979	7,409	8,167
110310	腎臓又は尿路の感染症	6,617		7,412	8,965	7,662	6,812	7,232	7,972
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	5,820		6,519	7,886	6,739	5,992	6,361	7,012
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	4,455		4,990	6,036	5,159	4,587	4,869	5,367
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	4,213		4,719	5,708	4,879	4,337	4,605	5,076
050030	急性心筋梗塞	4,043		4,529	5,478	4,682	4,162	4,419	4,871
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	3,965		4,441	5,372	4,591	4,082	4,334	4,777
180010	敗血症	3,618		4,053	4,902	4,190	3,725	3,954	4,359
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	3,132		3,508	4,244	3,627	3,225	3,423	3,773
180030	その他の感染症（真菌を除く。）	2,443		2,737	3,310	2,829	2,515	2,670	2,943

図表 3-1 2020 年度の救急車搬送院患者の上位 15 の医療資源病名と死亡率及び介護の状況（85-89 歳 全国 研究班データ）

85-89 歳		患者数			死亡		24 時間以内死亡		要介護高齢者		介護施設から入院	
DPC6 全体		N	%	累 積%	N	%	N	%	N	%	N	%
		174,834			29,035	16.6%	11344	6.5%	78,757	45.0%	27,296	15.6%
160800	股関節・大腿近位の骨折	12,879	7.4%	7.4%	203	1.6%	4	0.0%	6,394	49.6%	2,263	17.6%
040081	誤嚥性肺炎	12,639	7.2%	14.6%	2,708	21.4%	457	3.6%	9,424	74.6%	4,932	39.0%
010060	脳梗塞	12,139	6.9%	21.5%	1,129	9.3%	88	0.7%	4,893	40.3%	1,696	14.0%
050130	心不全	11,485	6.6%	28.1%	1,982	17.3%	516	4.5%	5,183	45.1%	1,723	15.0%
040080	肺炎	8,603	4.9%	33.0%	1,862	21.6%	368	4.3%	4,669	54.3%	1,881	21.9%
110310	腎臓又は尿路の感染症	7,693	4.4%	37.4%	301	3.9%	36	0.5%	4,694	61.0%	1,718	22.3%
050210	徐脈性不整脈	7,164	4.1%	41.5%	5,284	73.8%	4978	69.5%	1,266	17.7%	1,057	14.8%
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	5,629	3.2%	44.7%	564	10.0%	168	3.0%	1,985	35.3%	483	8.6%
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	4,444	2.5%	47.3%	62	1.4%	5	0.1%	1,756	39.5%	166	3.7%
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	4,211	2.4%	49.7%	173	4.1%	37	0.9%	1,993	47.3%	574	13.6%
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	3,804	2.2%	51.9%	1,002	26.3%	361	9.5%	1,586	41.7%	638	16.8%
180010	敗血症	3,736	2.1%	54.0%	1,334	35.7%	387	10.4%	2,021	54.1%	811	21.7%
050030	急性心筋梗塞	3,264	1.9%	55.9%	942	28.9%	572	17.5%	855	26.2%	300	9.2%
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	3,113	1.8%	57.7%	321	10.3%	122	3.9%	1,440	46.3%	524	16.8%
180030	その他の感染症（真菌を除く。）	2,294	1.3%	59.0%	445	19.4%	24	1.0%	1,097	47.8%	446	19.4%

図表 3-2 2020 年度の救急車搬送による入院患者の上位 15 の医療資源病名と 2025 年～50 年の予測患者数（85-89 歳 全国 研究班データ）

85-89 歳		2020 年	年度	2025	2030	2035	2040	2045	2050
		患者数	指数*	1.09	1.24	1.53	1.31	1.19	1.28
<b>DPC6</b>	<b>全体</b>	<b>174,834</b>		189,730	216,121	267,376	229,785	207,499	223,114
160800	股関節・大腿近位の骨折	12,879		13,976	15,920	19,696	16,927	15,285	16,435
040081	誤嚥性肺炎	12,639		13,716	15,624	19,329	16,611	15,000	16,129
010060	脳梗塞	12,139		13,173	15,006	18,564	15,954	14,407	15,491
050130	心不全	11,485		12,463	14,197	17,564	15,095	13,631	14,657
040080	肺炎	8,603		9,336	10,635	13,157	11,307	10,210	10,979
110310	腎臓又は尿路の感染症	7,693		8,348	9,510	11,765	10,111	9,130	9,817
050210	徐脈性不整脈	7,164		7,774	8,856	10,956	9,416	8,502	9,142
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	5,629		6,109	6,958	8,609	7,398	6,681	7,183
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	4,444		4,823	5,493	6,796	5,841	5,274	5,671
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	4,211		4,570	5,205	6,440	5,535	4,998	5,374
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	3,804		4,128	4,702	5,818	5,000	4,515	4,854
180010	敗血症	3,736		4,054	4,618	5,714	4,910	4,434	4,768
050030	急性心筋梗塞	3,264		3,542	4,035	4,992	4,290	3,874	4,165
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	3,113		3,378	3,848	4,761	4,091	3,695	3,973
180030	その他の感染症（真菌を除く。）	2,294		2,489	2,836	3,508	3,015	2,723	2,927

図表 4-1 2020 年度の救急車搬送院患者の上位 15 の医療資源病名と死亡率及び介護の状況（90-94 歳 全国 研究班データ）

90-94 歳		患者数			死亡		24 時間以内死亡		要介護高齢者		介護施設から入院	
DPC6 全体		N	%	累 積%	N	%	N	%	N	%	N	%
		110,853			21,323	19.2%	8058	7.3%	63,341	57.1%	26,555	24.0%
040081	誤嚥性肺炎	10,661	9.6%	9.6%	2,551	23.9%	399	3.7%	8,342	78.2%	4,709	44.2%
160800	股関節・大腿近位の骨折	10,024	9.0%	18.7%	236	2.4%	13	0.1%	6,005	59.9%	2,397	23.9%
050130	心不全	9,438	8.5%	27.2%	2,028	21.5%	512	5.4%	5,478	58.0%	2,217	23.5%
010060	脳梗塞	7,633	6.9%	34.1%	999	13.1%	69	0.9%	4,196	55.0%	1,701	22.3%
040080	肺炎	6,198	5.6%	39.7%	1,541	24.9%	271	4.4%	3,989	64.4%	1,929	31.1%
110310	腎臓又は尿路の感染症	5,251	4.7%	44.4%	286	5.4%	39	0.7%	3,720	70.8%	1,634	31.1%
050210	徐脈性不整脈	4,650	4.2%	48.6%	3,513	75.5%	3341	71.8%	1,094	23.5%	1,015	21.8%
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	2,970	2.7%	51.3%	345	11.6%	94	3.2%	1,411	47.5%	439	14.8%
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	2,791	2.5%	53.8%	158	5.7%	31	1.1%	1,671	59.9%	616	22.1%
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	2,372	2.1%	55.9%	42	1.8%	3	0.1%	1,141	48.1%	132	5.6%
180010	敗血症	2,259	2.0%	58.0%	859	38.0%	260	11.5%	1,520	67.3%	731	32.4%
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	1,971	1.8%	59.7%	626	31.8%	226	11.5%	1,057	53.6%	492	25.0%
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	1,953	1.8%	61.5%	229	11.7%	84	4.3%	1,117	57.2%	542	27.8%
050030	急性心筋梗塞	1,773	1.6%	63.1%	711	40.1%	423	23.9%	694	39.1%	275	15.5%
180030	ヘルニアの記載のない腸閉塞	1,354	1.2%	64.3%	295	21.8%	16	1.2%	817	60.3%	428	31.6%

図表 4-2 2020 年度の救急車搬送による入院患者の上位 15 の医療資源病名と 2025 年～50 年の予測患者数（90-94 歳 全国 研究班データ）

90-94 歳		2020 年	年度	2025	2030	2035	2040	2045	2050
		患者数	指数*	1.21	1.35	1.57	2.02	1.75	1.62
<b>DPC6</b>	<b>全体</b>	<b>110,853</b>		134,613	149,682	174,434	223,730	193,736	179,480
040081	誤嚥性肺炎	10,661		12,946	14,395	16,776	21,517	18,632	17,261
160800	股関節・大腿近位の骨折	10,024		12,173	13,535	15,773	20,231	17,519	16,230
050130	心不全	9,438		11,461	12,744	14,851	19,048	16,495	15,281
010060	脳梗塞	7,633		9,269	10,307	12,011	15,405	13,340	12,358
040080	肺炎	6,198		7,526	8,369	9,753	12,509	10,832	10,035
110310	腎臓又は尿路の感染症	5,251		6,377	7,090	8,263	10,598	9,177	8,502
050210	徐脈性不整脈	4,650		5,647	6,279	7,317	9,385	8,127	7,529
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	2,970		3,607	4,010	4,673	5,994	5,191	4,809
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	2,791		3,389	3,769	4,392	5,633	4,878	4,519
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	2,372		2,880	3,203	3,732	4,787	4,146	3,840
180010	敗血症	2,259		2,743	3,050	3,555	4,559	3,948	3,658
010040	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	1,971		2,393	2,661	3,101	3,978	3,445	3,191
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	1,953		2,372	2,637	3,073	3,942	3,413	3,162
050030	急性心筋梗塞	1,773		2,153	2,394	2,790	3,578	3,099	2,871
180030	ヘルニアの記載のない腸閉塞	1,354		1,644	1,828	2,131	2,733	2,366	2,192

図表 5-1 2020 年度の救急車搬送院患者の上位 15 の医療資源病名と死亡率及び介護の状況（95 歳以上 全国 研究班データ）

95 歳以上		患者数			死亡		24 時間以内死亡		要介護高齢者		介護施設から入院	
		N	%	累積%	N	%	N	%	N	%	N	%
<b>DPC6 全体</b>		<b>41,090</b>			<b>9,051</b>	<b>22.0%</b>	<b>3308</b>	<b>8.1%</b>	<b>28,150</b>	<b>68.5%</b>	<b>13,498</b>	<b>32.8%</b>
040081	誤嚥性肺炎	5,104	12.4%	12.4%	1,342	26.3%	242	4.7%	4,235	83.0%	2,564	50.2%
050130	心不全	4,204	10.2%	22.7%	1,093	26.0%	246	5.9%	2,924	69.6%	1,354	32.2%
160800	股関節・大腿近位の骨折	4,071	9.9%	32.6%	138	3.4%	5	0.1%	2,828	69.5%	1,190	29.2%
040080	肺炎	2,630	6.4%	39.0%	711	27.0%	139	5.3%	1,935	73.6%	1,074	40.8%
010060	脳梗塞	2,616	6.4%	45.3%	484	18.5%	20	0.8%	1,823	69.7%	870	33.3%
110310	腎臓又は尿路の感染症	2,157	5.2%	50.6%	130	6.0%	9	0.4%	1,728	80.1%	867	40.2%
050210	徐脈性不整脈	1,833	4.5%	55.0%	1,464	79.9%	1388	75.7%	494	27.0%	551	30.1%
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	1,180	2.9%	57.9%	96	8.1%	23	1.9%	869	73.6%	384	32.5%
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	957	2.3%	60.2%	104	10.9%	37	3.9%	579	60.5%	228	23.8%
180010	敗血症	864	2.1%	62.3%	316	36.6%	100	11.6%	653	75.6%	359	41.6%
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	725	1.8%	64.1%	14	1.9%	1	0.1%	460	63.4%	49	6.8%
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	588	1.4%	65.5%	124	21.1%	50	8.5%	417	70.9%	193	32.8%
100380	体液量減少症	586	1.4%	67.0%	89	15.2%	25	4.3%	424	72.4%	127	21.7%
050030	急性心筋梗塞	519	1.3%	68.2%	276	53.2%	164	31.6%	263	50.7%	126	24.3%
180030	その他の感染症（真菌を除く。）	511	1.2%	69.5%	123	24.1%	6	1.2%	367	71.8%	204	39.9%

図表 5-2 2020 年度の救急車搬送による入院患者の上位 15 の医療資源病名と 2025 年～50 年の予測患者数（95 歳以上 全国 研究班データ）

95 歳以上		2020 年	年度	2025	2030	2035	2040	2045	2050
		患者数	指数*	1.40	1.81	2.13	2.56	3.41	3.29
<b>DPC6</b>	<b>全体</b>	<b>41,090</b>		57,525	74,307	87,531	105,187	139,970	135,174
040081	誤嚥性肺炎	5,104		7,145	9,230	10,873	13,066	17,386	16,791
050130	心不全	4,204		5,885	7,602	8,956	10,762	14,321	13,830
160800	股関節・大腿近位の骨折	4,071		5,699	7,362	8,672	10,421	13,868	13,392
040080	肺炎	2,630		3,682	4,756	5,603	6,733	8,959	8,652
010060	脳梗塞	2,616		3,662	4,731	5,573	6,697	8,911	8,606
110310	腎臓又は尿路の感染症	2,157		3,020	3,901	4,595	5,522	7,348	7,096
050210	徐脈性不整脈	1,833		2,566	3,315	3,905	4,692	6,244	6,030
060340	胆管（肝内外）結石、胆管炎	1,180		1,652	2,134	2,514	3,021	4,020	3,882
160100	頭蓋・頭蓋内損傷	957		1,340	1,731	2,039	2,450	3,260	3,148
180010	敗血症	864		1,210	1,562	1,841	2,212	2,943	2,842
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む。）	725		1,015	1,311	1,544	1,856	2,470	2,385
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	588		823	1,063	1,253	1,505	2,003	1,934
100380	体液量減少症	586		820	1,060	1,248	1,500	1,996	1,928
050030	急性心筋梗塞	519		727	939	1,106	1,329	1,768	1,707
180030	その他の感染症（真菌を除く。）	511		715	924	1,089	1,308	1,741	1,681